

JR連合
 総がかりの運動を
 強く広く
 展開しよう!



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

http://www.jr-rengo.jp

日本鉄道労働組合連合会
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
 1部20円 (但し組合費に含む)
 ●発行所 松岡裕次 ●編集者 中村鉄平

facebook
 JR連合

twitter
 JR連合



JREユニオン第6回定期大会【7月9日】
 菅野一位中
 長(丁JR連
 合副会長)
 は挨拶に立
 ち、西日本
 豪雨で被災
 された方に
 対してお見
 舞いの意を
 表すとともに、JRE
 ユニオンと

**JREユニオン第6回定期大会
 組織拡大を成し遂げ、
 民主化闘争完遂を目指す**

JREユニオンは、7月9日、東京都内において、第6回定期大会を開催した。「安全の確立と民主的労働組合の構築に向け、全組合員で組織拡大を加速させ、民主化闘争を完遂しよう」のスローガンの下、安全・

2018年度運動方針を満場一致で決定した。
 冒頭、執行部が代表して

JR西労組は、7月11日、大阪市内において、「創造・参加・実践 責任組合の役割を自覚し、安全を基礎に、持続的発展に向けた展望を切り拓こう」をメインスローガンに、第30回定期大会を開催した。西

日本豪雨や大阪北部地震で多くの組合員が被災し、鉄道設備も甚大な被害を受け

**JR西労組第30回定期中央本部大会
 被災した仲間への支援に取り組む**

JR西労組は、7月11日、大阪市内において、「創造・参加・実践 責任組合の役割を自覚し、安全を基礎に、持続的発展に向けた展望を切り拓こう」をメインスローガンに、第30回定期大会を開催した。西

日本豪雨や大阪北部地震で多くの組合員が被災し、鉄道設備も甚大な被害を受け

JR東日本の次の30年を担う責任ある企業内労働組合をともに築くために必ず行動を起こそう」と力強く訴えた。

JR連合からは、松岡裕次会長、政所大祐企画部長、中山耕介組織・政治部長が参加し、さらには先の参議院選挙で支援した川孝孝典参議院議員が出席し、激励

JR東日本の次の30年を担う責任ある企業内労働組合をともに築くために必ず行動を起こそう」と力強く訴えた。

JR連合からは、松岡裕次会長、政所大祐企画部長、中山耕介組織・政治部長が参加し、さらには先の参議院選挙で支援した川孝孝典参議院議員が出席し、激励

JR九州は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

JR九州は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

**JR九州労組第27回定期大会
 次世代への継承が着実に前進**

JR九州労組は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

JR九州労組は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

JR九州は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

JR九州は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

JR九州は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

JR九州は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

JR九州は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

JR九州は、7月13日、北九州市内で第27回定期大会を開催した。大会では、冒頭、西日本豪雨の被災者に対して黙祷を捧げ、お亡くなりになられた方のご冥福と被災された

JR九州労組第27回定期大会【7月13日】

JR西労組第30回定期中央本部大会【7月11~13日】

JR各単組定期大会で具体的方針を決定

JR四国予讃線被災エリアへの激励行動 西日本豪雨による 鉄道被災からの復旧支援につなげていく

2018年6月28日から7月8日頃にかけて、西日本を中心とした広い範囲で集中豪雨が降生し、多くの地域で河川氾濫や土砂崩壊などによって、死者数が200人を超える規模の甚大な災害となった。鉄道にもこれまでにないほど深刻な被害が各地で発生し、JR西日本やJR四国をはじめとしてJR東海、JR九州など、多くの鉄道路線が寸断される状況となった。

7月18日、JR四国労組本部はJR四国予讃線の被災エリアの職場への激励行動および現地視察を行い、JR連合から中村鉄平交通政策部長が参加した。愛媛県内でも広範囲に及んだため、県内を横断し、宇和島

地区から八幡浜地区、大洲地区、松山地区へと巡った。沿線では、河川の氾濫や土砂崩壊が深い爪痕を残し、多くの住民が避難所での生活を余儀なくされていた。鉄道路線も長期間の運転休止を要する状況下で、組合員をはじめJR職場で働く仲間たちが早期復旧にむけた工事やバスによる代替輸送への対応などに追われていた。その労苦に対して、各職場を回り、中濱斉執行委員長(JR連合副会長)から激励の言葉をかけるとともに、飲料水などを差し入れた。

今回の豪雨災害によって、地域における鉄道の社会資本としての重要性・必要性が再認識される一方で、経

営基盤の脆弱なJR四国にとつて、復旧費用の増大と収入の減少が経営に与えるダメージは計り知れない。今後、豪雨災害による被災地域の復興にむけた取り組みのためにも、人流・物流ネットワークとしての役割を担っていないか検討しなければならない。そのためには鉄道被災からの復旧に資する各種支援について、関係各方面と連携しながら、あらゆる機会を捉えて、求めていく。



線路が土に埋もれ、漂流物が線路上に残るJR四国予讃線伊予吉田駅構内

被災者の支援と人流・物流ネットワークの早期復旧にむけて ー 大阪北部地震・平成30年7月豪雨災害の発生に対する声明 ー

6月18日7時58分頃、大阪府北部を震源として地震が発生し、最大震度6弱の強い地震が大阪府北部地域で発生し、多数の家屋に損壊などが発生する被害が生じました。また、6月28日から7月8日頃にかけて、台風7号および梅雨前線等の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で集中豪雨が降生し、11府県で大雨特別警報が発令され、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水被害、土砂災害が発生し、死者数が200人を超える甚大な災害となりました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、すべての被災された方々に対して心からお見舞い申し上げます。

これらの災害によって、上水道、エネルギーや通信といったライフラインに被害が及んだほか、JRをはじめとする交通機関など基幹インフラに大きな影響が出ています。また、被災された多数の方々が避難所での不自由な生活を余儀なくされ、不安な日々を送っています。

大阪北部地震では鉄道施設の大きな被害はなかったものの、平成30年7月豪雨災害によって、JR東海管内では高山本線の土砂流入が発生し、JR西日本管内では山陽本線三原エリアでの盛土崩壊、芸備線の橋脚流失など現時点で復旧に数箇月から年単位の被害が発生している他、多くの路線で土砂流入や浸水被害が生じています。また、JR四国管内では予讃線の橋脚傾斜や土砂流入や浸水被害、さらにはJR九州管内では筑肥線、肥薩線、筑豊線などで土砂流入などの被害を受けています。さらに、山陽本線が寸断されたことにより、JR貨物の全輸送量の約3割を占める東京ー福岡輸送において、福山や大阪などからのトラックや船舶による代行輸送を余儀なくされている状況です。

現在、グループ労組組合員を含め、すべての関係組合員が総力を挙げて、昼夜を問わず復旧に向けた作業を行っています。

JR連合は、こうした事態を踏まえ、7月19日に持ち回り執行委員会を開催し、「平成30年7月豪雨等対策救援本部」を設置しました。JR連合8万2千名総力を挙げて、被災された組合員・家族を支え、人流・物流ネットワークと地域の早期復旧・復興にむけた活動を全面的に支援します。また、かねてより、昨今の大規模化・多頻度化する自然災害を踏まえ、治山・治水事業の強化や老朽化が進む鉄道施設・設備への対応強化、被災時の公的支援の増強等を国に対して要請してきていますが、あらためてJR連合国会議員懇談会や「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」の所属議員らと連携を図り、これらを強く求める取り組みを展開します。

今こそ労働組合の本分である、相互扶助・助け合いの精神を発揮し、被災された組合員・家族の支援に全組合員が総力を挙げて取り組むとともに、地域の復興に欠かせない鉄道の早期復旧に向けて、全力を傾注していきます。

2018年7月19日
 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合)

